

Section

08

撮影モードを知ろう

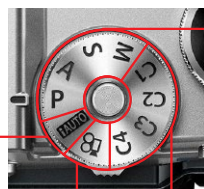
Keyword 撮影モード / iAUTO / SCNモード

1

PEN-Fの基本操作を知ろう

PEN-Fには、自分で詳細に設定したい場合の応用撮影モードと、カメラに設定をまかせるiAUTO、SCN、フォトストーリーモード、動画を撮影するムービーモードがある。

1 PEN-Fの撮影モード



Section
03カラープロファイル
コントロールの操作と効果

Keyword 彩度 / 全色一括変更 / カラープロファイル / プリセット

カラープロファイルコントロールでは、色相ごとに彩度を調整して、画面内に写る色の強さを思いのままに操ることができる。これによりまるでパソコンの画像加工ソフトのように、より緻密な画づくりが楽しめる。さまざまな色づくりを試して、自分だけのこだわりの色を見つけてみよう。

1 カラープロファイルコントロールの利用方法

カラープロファイルコントロールは**12色相**の彩度をそれぞれ基準点を含め**11段階**で調整して自分なりの色づくりを楽しめる機能だ。**色相**とは赤、黄、緑などの色合い、**彩度**は色の濃さ・鮮やかさのことだ。ファインダーやモニターを見ながら円形のインターフェースで直感的に操作ができる。全色相の彩度を一括で調整することも可能。



クリエイティブダイヤルを [COLOR] に合わせて①とカラーフィルターの設定画面になる②。フロントダイヤル③を回すと調整する色を変えて、リアダイヤル④を回すと選んだ色の彩度の調整ができる。

■ 色相を調整する

色調整なし



黄: +5 赤: +5

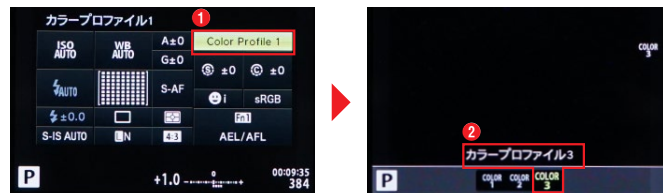


それぞれの色の彩度の調整ができる機能を活かして、一部の彩度を上げて撮影した。これにより、特にポイントとなる被写体の色に目がいくようになり、作品にメリハリができた。

2 カスタマイズ登録とプリセットを使う

カラープロファイルコントロールの撮影設定は、**カラープロファイルに保存**して楽しむことができる。カラープロファイルは3つあり、[カラープロファイル1] は自分好みにカスタマイズしたものを登録できる。[カラープロファイル2] [カラープロファイル3] はそれぞれプリセットでクロームフィルムをイメージした設定になっており、そこから任意でカスタマイズできる。

■ カラープロファイルの切り換え方法



OKボタンを押してLVスーパーコンパネを表示し、[カラープロファイル] を選択する①。OKボタンを押すと[カラープロファイル] が3項目でくる。プリセットの機能を使用したい場合は[Color Profile 2] か [Color Profile 3] を選択する②。プリセットから設定を調整することや、自分好みの設定を保存することもできる。それぞれ初期設定に戻したい場合はOKボタンを長押しするとリセットされる。([Color Profile 2]、[Color Profile 3] の場合はプリセット値に戻る。)

Color Profile2



クロームフィルム リッチカラー
高めのコントラストでしっかりと重厚感のある色調で撮影できる。

Color Profile3



クロームフィルム ビビッド
鮮やかな発色でコントラストが高く、印象的に撮影できる。

要点

- 12色相を11段階で調整して自分好みの色づくりができる。
- プリセットを使用するとかんたんにクロームフィルムのような色合いの撮影が楽しめる。

Section
07何気ない1コマを
モノクロで印象深くする

Keyword モノクロプロファイルコントロール / 粒状フィルム効果 / 調色

PEN-Fにはモノクロで撮影する方法がいくつかある。ピクチャーモードの**モノトーン**、アートフィルターの**ラフモノクローム**、そしてクリエイティブダイヤルで呼び出す**モノクロプロファイルコントロール**だ。ここではさまざまな効果や設定を細かく調整できるモノクロプロファイルコントロールを使って、より表現にこだわったモノクロの撮影方法を紹介する。



モノクロプロファイルコントロールで好みのモノクロ写真をつくる

モノクロプロファイルコントロールはあらかじめ3つのプリセットが用意されており、そこから自分好みにカスタマイズできる。細かい設定の方法についてはP68で解説している。作例はハイライト&シャドウコントロールで中間部のトーンを下げて、タクシーの質感と写真全体に力強さを出した。

カメラ設定	撮影モード	A(絞り優先)	絞り	F1.8	シャッター速度	1/250秒
	露出補正	±0	ISO感度	200	WB	日陰
	使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL 45mm F1.8			焦点距離	45mm
	その他	モノクロプロファイルコントロール				

1 フィルム写真のような雰囲気にとめる

プロフィール2の**クラシックフィルム**を選び、**粒状フィルム効果**は弱に設定した。また四隅が光量落ちたような効果を得られる**シェーディング効果**を-3に設定し、昔のフィルムカメラで撮影したような古めかしい雰囲気のある一枚に仕上げることができた。



カメラ設定
撮影モード A(絞り優先)
絞り F2.8
シャッター速度 1/800秒
露出補正 ±0
ISO感度 200
WB 日陰
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL
ED 12-40mm F2.8 PRO
焦点距離 40mm
その他 モノクロプロファイル
コントロール

2 調色でイメージ通りに仕上げる

調色を適用することで、白と黒のモノクロだけでなく、セピア、青、紫、緑の4種類のモノクロを楽しむことができる。作例は寺院の中にあったレトロなランプを時代がかったイメージにするためにセピアを選び、**ハイライト&シャドウコントロール**で暗部のトーンを下げた。



カメラ設定
撮影モード A(絞り優先)
絞り F2.8
シャッター速度 1/20秒
露出補正 ±0
ISO感度 800
WB 日陰
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL
ED 12-40mm F2.8 PRO
焦点距離 18mm
その他 モノクロプロファイル
コントロール

要点

- モノクロプロファイルコントロールには3つのプリセットがあり、自分の好みにカスタマイズできる。
- 粒状効果やシェーディング効果を使用することで、フィルム写真のような描写ができる。